

SDG4教育キャンペーン2021 子ども・ユースからの要望



2021年6月9日

「SDG4教育キャンペーン2021」では、SDG4・教育に問題意識・関心のある子ども・ユースを募りました。以下、国内外の教育問題に対するメンバー24名の声・要望を取りまとめました。是非、耳を傾けてください。

教育は個々人の人格、道徳の形成に大きな役割を果たすだけでなく、多様な価値観を身につけ、健康で文化的な最低限度の生活を送るために必須です。日本政府として、地球上の全ての人々の基本的人権を保護し、SDGsの主題でもある「誰一人取り残さない」、平等かつ公平な社会の構築および、教育格差の是正のため、子ども・ユースとして提言します。

【Q1:子ども参加】「子どもの声にも意味がある！～声なき人々の声の尊重～」

子どもの声には意味がない？それは誤解です。教育の現場にいる子どもの声に耳を傾けてください。自分の意見を周りに伝えることに躊躇いを感じている子どもや、「言ってもおとなはどうせ聴いてくれない」と、どんなに困っていても声を出せない子どもがいます。行き場のない想いを抱える子どもたちが少しでも減るように、そしてより良い社会を創るためにも、未来の担い手である子どもの声が尊重される環境が必要ではないでしょうか。

【Q2:外国ルーツの子】「誰ひとり取り残さない学校教育を！外国にルーツをもつ子どもにも質の高い教育を！」

外国にルーツをもつ子どもが日本語で行われている授業を理解できていないことがあります。また、日本語指導が必要な子どもの高校中退率は、そうでない子どもと比べて大きく上回っています。高校や大学などに進学できないことは、自己実現や社会参加の足かせにもなりえます。適切なカリキュラム構築や支援者などの人材育成が急務であり、外国にルーツをもつ子どもの実態を調査し、現状を把握することがまず必要です。

【Q3:ジェンダー】「気づいてほしい！ジェンダーの視点から見る教育現場の在り方」

教員は子どもにとって身近な存在でありロールモデルにもなりうる存在です。女性のリーダーが少ない環境では「女性はリーダーには向いていない、男性がやるものだ」というアンコンシャス・バイアスを助長しかねません。また、意思決定の場における女性の少なさは教育現場の多様性確保をより困難にします。女性をはじめとする教員が働きやすくなるような職場を作ると共に、教育現場における女性の管理職を増やしてください。

【Q4:ECWへの拠出】「日本もECWに拠出して！～危機に直面している子どもたちに質の高い教育を～」

緊急下や長期化する人道危機によって自分の意思とは関係のない現実を受け入れざるを得ない子どもがいます。その多くは教育を受けられていません。教育を受けられない状態が続くと、世代を超えた悪循環になります。子どもは未来の社会を担う人材です。今すぐECWに拠出してください。こうした取り残されがちな人々への支援を訴える声も日本にあります。グローバル社会におけるリーダーシップを日本が発揮してください。

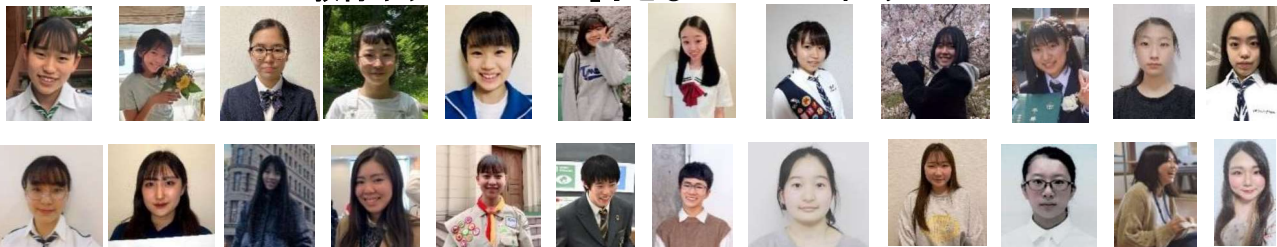
【Q5:GPEへの拠出】「今こそ投資だ。女の子の“未来”を守る、世界の“未来”を創るために。」

「女の子だから」という理由だけで、1億3030万人(※)の子どもが学校に行けていません。今、コロナ禍で事態は悪化しています。同じ子ども・ユースとしてこの現状に強い悲しみと憤りを感じ、全ての子どもが学校に行ける世界を求めます。G7サミット、GPEの増資会合を控えた今こそ、日本政府が教育・ジェンダー問題へ解決意志を表明する絶好の機会です。GPEへの増資で女の子の未来を守ってください。

【Q6:学校保護宣言】「大人の操り人形にならないために～子どもたちの権利・教育・夢を守る～」

紛争によって子どもの意見が尊重されず権利や教育を受ける機会や夢が奪われています。SDGsの基本理念に「誰一人取り残さない」とあるように、日本も紛争地域下の子どもたちのことを他人事と考えず、世界の半数以上の国々が支持している学校保護宣言を支持し、世界中の子どもたちの学ぶ環境・教育を受ける権利を保護・保障する意思表示をしてください。

「SDG4教育キャンペーン2021」子ども・ユースロビンメンバー



大野ひなた/山梨 高橋優花/福岡 瀬尾采子/京都 小島わかな/東京 今川つかさ/埼玉 川屋彩乃/東京 植岡優里奈/神奈川 高橋咲羽/北海道
池田直/北海道 高橋真衣/東京 林美恵/東京 伊東理彩/東京 西恵里奈/北海道 李和恰/東京 大橋礼実/神奈川 櫻井里咲/栃木
櫻井せあ/東京 櫻井晃太郎/東京 今田恭太/神奈川 山崎ひなた/長野 田中茜/東京 肥田季美佳/東京 小林優実/北海道 小島諒子/東京

※UNESCO. 2016. Leaving No One Behind. Paris, UNESCO <https://unesdoc.unesco.org/ark:/48223/pf0000245238/PDF/245238eng.pdf.multi>